

‘17(平成29)年4月5日



4月 釜小だより

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>



一期一会の心で

学校長 岡野 真由美

校庭の桜が美しく花開き、子どもたちの新入学や進級を祝うかのように優しく揺れています。

本日、77名の新一年生が入学し、全校児童444名で、釜利谷小学校の平成29年度がスタートしました。新一年生にとっては待ちに待った入学であったことと思います。保護者の皆様には心からお祝い申し上げます。一日も早く釜利谷小学校での生活に慣れ、たくさんの仲間と楽しい学校生活を送ってくれることを願っています。

また、ひとつ進級した二年生以上の子どもたちも、新たな学級での友達や担任との出会いに心をときめかせていることと思います。子どもたち一人ひとりが新鮮な気持ちで平成29年度をスタートし、充実した学校生活を送ることができるよう、「チーム釜利谷」の教職員一同、全力で指導・支援していきます。

さて、春は別れと出会いの季節と言われますが、本校ではこれまで共に教育活動に取り組んできた4名の教職員を送り出し、新しく6名の教職員を迎えました。例年4月は、新たな力を得た「チーム釜利谷」のスタートでもあります。これまでも本校では学校、保護者、地域の連携を大切にしながら、子どもたちの創造性・感性・健康を育む教育の推進に努めてきました。今年度も、私たち教職員は、一人ひとりの力を合わせながら学校組織としての「チーム力」を高め、保護者や地域の期待や信頼に応える学校づくりに努めてまいります。

本校の学校教育目標は「たのしい わたしの学校 ～ひびきあい ささえあい たかめあい～」です。その実現に向けて、まず取り組みたいのは、日々の学習を充実させることです。子どもたちの「わかった」「できた」ときの瞳の輝きをエネルギーとして、毎時間の授業に取り組む教職員集団でありたいと考えています。さらに人と人とのつながりを大切にして生活する子どもを育てるため、人権教育や道徳の時間の充実を図るとともに、新しい取組として全学年を縦割りにしたグループでのさまざまな活動を取り入れていきます。

日本に古来から伝わる茶会の心得に「一期一会」の教えがあります。茶会に臨む際は、その機会を一生に一度のものとして心得、主客ともに互いに誠意を尽くせという教えです。「一期一会」とは、一生に一度限りの機会という意味で、それを大切にしなければいけないということです。

これから始まる本校での一つひとつの教育活動は、子どもたちにとっては一度限りの機会となります。新たな子どもたちと新たな学級を創り出そうとするこの時期、私たち教職員は、改めて「一期一会」の心得を肝に銘じたいと思います。そして、今年度も一つひとつの教育活動に誠意を尽くして取り組んでまいります。